



京都大学理学研究科主催

サイエンス倶楽部デイ

京大理学の 新しい芽を知る! 未来につながる 理学のポテンシャル



京都大学大学院理学研究科では、2015年に後援者、同窓生、学生、教職員を構成員とする「京都大学サイエンス倶楽部」を立ち上げ、以降、毎年11月に「理学の新しい芽を育む」をテーマに、メンバー相互の交流と親睦を図り、連携を深めることを目的として「サイエンス倶楽部デイ」を開催してきました。

令和3年度は、これまでの講演会等に加え、大学院生等の若手研究者約50名との交流を目的とした研究交流会を設け、オンラインにて開催いたしました。今年度は、新たに、ご支援いただいた寄附金を原資に、大学院生を中心に自由な発想での研究提案を募集しました。その採択者約20名による研究発表も行います。

このように未来につながるイノベーションを共創できる京大理学のポテンシャルを体感いただく機会となっておりますので、是非お申込みください。

日時 令和4年 **11月21日(月)** 10:10-17:40

場所 京都大学 北部構内
北部総合教育研究棟、旧演習林事務室
(〒606-8502 京都市左京区北白川追分町)

事前登録制 (申込締切：令和4年11月18日(金) 17:00)

方式 対面

参加費 無料

定員 150名程度

■研究発表ポスター公開
令和4年11月7日(月)~12月28日(水)
<https://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/event/club/2022>



当日プログラム

第一部 学術講演会 10:10~12:00

会場：北部総合教育研究棟 益川ホール

(昼休み)

第二部 研究交流会 13:00~17:40

会場：北部総合教育研究棟
(益川ホール、ロビー、
小林・益川記念室)
旧演習林事務室
(ラウンジ、共同会議室)

主催：京都大学大学院理学研究科
共催：京大オリジナル株式会社
後援：一般社団法人産学協働イノベーション
人材育成協議会 (C-ENGINE)
京都大学産官学連携本部

申込・詳細 <https://www.kyodai-original.co.jp/?p=16937>



お問合せ ●内容について

京都大学大学院理学研究科 附属サイエンス連携探索センター
TEL: 075-753-9413 E-mail: 050sacra@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

●申込について

京大オリジナル株式会社 プロジェクトマネジメント部
TEL: 075-753-7778 E-mail: kensyu@kyodai-original.co.jp



第一部 学術講演会

会場：北部総合教育研究棟 益川ホール

10:10~11:05 学術講演会1

「宇宙を支配する数式」

橋本 幸士(京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 教授)



11:05~12:00 学術講演会2

「地球外からサンプルを持ち帰る:リターンサンプルのサイエンス」

野口 高明(京都大学大学院理学研究科 地球惑星科学専攻 教授)



(昼休み)

第二部 研究交流会

会場：A…北部総合教育研究棟 (ロビー、小林・益川記念室)

B…北部総合教育研究棟 (益川ホール)

C…旧演習林事務室 (ラウンジ、共同会議室)

13:00~13:20 研究科長挨拶 [会場B]

13:35~14:55 ポスターセッション1 [会場A・C]

15:10~16:10 OB、OGによる講演 [会場B]

「次世代メモリの研究開発の現場から」

高嶋 梨菜(物理学・宇宙物理学専攻) キオクシア株式会社 メモリ技術研究所

「会社で博士を取得して」

植野 正嗣(化学専攻) HPCシステムズ株式会社

「数学研究から離れて見えた数学の価値」

高山 侑也(数学・数理解析専攻) 株式会社ニコン

16:20~17:40 ポスターセッション2 [会場A・C]

方式：対面 (申込締切:令和4年11月18日(金) 17:00)

■ 研究発表ポスター公開 令和4年11月7日(月)~12月28日(水)

【注意事項】

■次の行為はお控えください。

・本イベントの全部又は一部を第三者に提供する行為

・本イベントの録音、録画、撮影、その他複製行為

理学研究科長からのご挨拶

京都大学理学研究科には、これまで多くの方々からご厚志を頂戴し、それを学生への奨学金や研究科の諸活動に役立てさせていただいております。サイエンス倶楽部デイはそのようなご支援をいただいた方々に、研究科での教育や研究の様子をご覧いただく場として開催してまいりました。

一方で、理学という基礎学問分野でも、社会とのつながりを全く考えないで研究や教育活動はできないことはいうまでもありません。特に最近のSDGsなどからもわかるとおり、持続可能な未来社会の構築のためにも基礎科学の有用性、貢献への期待は大きく、1例を挙げれば昨年7月から経団連と数学者の間で数理活用産学連携イニシアチブという取り組みが始まったように、数学や自然科学の分野からの社会への貢献に対する期待は、これまで以上に大きいものがあります。本学理学研究科でも、このような国内外の状況を背景に、理学という、基礎科学の中でもとりわけ基礎にある学問分野こそが持っているポテンシャル、未来社会に向けた貢献の可能性を探るような、京大理学らしい産学連携のあり方についても考えたいと、研究科のいろいろな場で議論をしてまいりました。

今年度も昨年度と同様に、サイエンス倶楽部デイを産学交流の機会ともするべく、企画を考えています。多くの皆さまのご参加をいただき、本学理学研究科の教育や研究の最前線をご覧いただくと共に、京大理学らしい産学連携や社会貢献のしかたについてのご意見やご提案をいただけましたらと願っております。皆さまのご参加を心待ちにしております。

國府 寛司 京都大学大学院理学研究科長・理学部長

